

# 関東地方整備局管内【一般部門】3件認定！ 活動概要ご紹介

## 鬼怒川中流域の生物多様性を守る

(栃木県・さくら市)



保全対象のシルビアシジミ



小学生による外来種駆除活動

### <活動内容>

本会が保全対象としたシルビアシジミは、1877年に、栃木県さくら市上阿久津地内の鬼怒川河川敷にて採集、新種として記録されました。栃木県でも絶滅危惧Ⅰ類に指定されるとともに、自然環境保全地域として鬼怒川河川敷の3エリアを指定しました。このような中、地域の協力者を募り、2003年に保全活動を開始し、主に保全地の管理活動、外来種駆除等の体験授業(環境教育)や自然観察会を行っています。その他の活動では、様々な行政機関からの講師依頼や執筆依頼に加え、ラジオやテレビなどへの出演に対応しています。

特定非営利活動法人 水辺環境保全研究所

### <対象となる社会資本>

一級河川 鬼怒川 ※管理者: 関東地方整備局 下館河川事務所

## 荒川を“首都圏の里川”に荒川クリーンエイド (埼玉県 戸田市他・東京都 板橋区他)



荒川クリーンエイド説明会



関東圏の企業への講演活動

### <活動内容>

荒川クリーンエイドは、荒川下流工事事務所(当時)と協働し高度経済成長期に汚染された荒川を再生し、豊かな自然と地域の絆を強固にするため、1994年に荒川放水路通水70周年を記念して始まった。(特非)荒川クリーンエイド・フォーラムをハブとして、市民団体、行政/自治体、企業、学校など多様な団体が構成され、活動内容は「調べるごみ拾い」を軸とし、ごみの種類と数を記録することで環境問題への気づきを促し、データを活用して発生源の特定や啓発に取り組んでいる。また、生物多様性の保全、環境教育、情報発信などを通じて、荒川流域に創出された自然と人々の暮らしを未来へつなぐ活動を続けている。

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム

### <対象となる社会資本>

一級河川 荒川 ※管理者: 関東地方整備局 荒川下流河川事務所

## 高校生の力で育む未来

～子どもから大人まで、多様な世代がつながる公園愛護会～(神奈川県・伊勢原市)



公園遊具の隅々まで清掃



毎年大盛況のハロウィンイベントでの集合写真

### <活動内容>

高等学校の生徒会である「なおき会」では、様々なボランティア活動を実施しており、その一環として地域や地域住民との交流活動がある。活動は「公園の清掃」と「公園にいる子供達との交流」を合わせて基本活動としており、清掃後に子供達と会話やダンス、キャッチボール等をするなど、参加した生徒自身、子供達にとっても楽しい活動となっている。また、活動日を地域の自治会主催のイベントに合わせ、イベント前の清掃・準備、片付けまでを地域住民と一緒にやり、地域のニーズにもこたえながら交流を深めており、公園の維持管理のみならず、世代間の壁を越えた地域コミュニティを形成している。

私立向上高等学校 なおき会

### <対象となる社会資本>

城ノ腰公園 ※管理者: 伊勢原市

## 国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」とは

### ◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、**良質な社会資本**及びそれと関わりをもつ**優れた地域活動**を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、**個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的**として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和7年度で40回目。

### 【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

### 【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

### ◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

### 手づくり郷土賞選定委員会 (令和7年度)

委員長	野澤 康	工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授
委員	小浦 久子	奈良文化財研究所 文化遺産部 景観研究室 客員研究員
委員	斉藤 俊幸	イング総合計画株式会社 代表取締役/地域再生マネージャー
委員	坂元 英俊	一般社団法人 地域観光研究所 代表理事
委員	真田 純子	東京科学大学 環境・社会理工学院 教授
委員	西村 浩	株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役 (敬称略)